

トヨタ車体、「ダカールラリー2022 サウジアラビア」に参戦 ～ランドクルーザー200でラストラン 市販車部門9連覇に挑む～

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 代表取締役・社長：増井 敬二）のラリーチームであるチームランドクルーザー・トヨタオートボデー（以下、TLC）は、2022年1月2日から1月14日までサウジアラビアを舞台に開催される『ダカールラリー2022』の市販車部門に、ラストランとなるランドクルーザー200シリーズの2台体制で参戦し、9連覇に挑みます。

ランドクルーザーは、1951年にトヨタジープBJシリーズが誕生して以来、累計1,060万台以上が発売され、今年70周年を迎えました。世界中の過酷な環境で鍛えられ、「どこへでも行き、生きて帰ってこられる」唯一無二の存在として、世界170の国と地域でお客様の生活を支え、命を運ぶクルマとして活躍しています。

これまでダカールラリーの最前線で活躍してきたランドクルーザー200シリーズは、過去13回にわたり参戦してきました。南米大陸やアラビア半島の厳しい路面を走破し、市販車部門11回の優勝と2回の準優勝という成績を収め、その結果、ランドクルーザー200シリーズの信頼性、耐久性、悪路の走破性を証明し続けることができました。

ランドクルーザー200シリーズでの最後の挑戦となる今回は、多くの皆さまに愛していただいた感謝の気持ちを込めて「ワン・ツー・フィニッシュで9連覇」というゴールを皆さまとともに迎えられるようチーム一丸となって戦ってまいります。

そして、これまでの参戦で得た経験や知見をランドクルーザーの開発にフィードバックしたランドクルーザー300シリーズが今夏誕生しました。ランドクルーザー300シリーズでのダカールラリーデビューは、2023年大会を目指しております。今後も「もっといいランドクルーザーづくり」を進めるために、世界一過酷なラリーとも言われるダカールラリーに参戦し続けます。

トヨタ車体は、TOYOTA GAZOO Racingの一員としてダカールラリーに参戦し、人とクルマを鍛え、もっといいクルマづくりを目指します。そして、チームメンバー、従業員、パートナー企業様、地域の皆様、ランドクルーザーに関わる皆様、ファンの皆様と心をひとつに、ダカールラリーへ挑戦し続けることで、世界中のくらしに笑顔を届けてまいります。



1. チーム名

Team Land Cruiser TOYOTA AUTO BODY (チームランドクルーザー・トヨタオートボデー)
通称：TLC

2. ダカールラリー2022 参戦車両 (車両 No.はダカールラリー2021 のもの)

1号車



2号車



フロント



リア



サイド

【ランドクルーザー200 ダカールラリー2022 仕様車スペック】

項目	スペック内容
ベース車両型式	V D J 200
エンジン型式	1 VD-FTV 型
総排気量	4,461cc
全長 / 全幅 / 全高	4,950mm/1,970mm/1,910mm
最高出力	300ps 以上
最大トルク	800N・m 以上
ステアリング	ラック & ピニオン式
サスペンション	前/ダブルウィッシュボーン式独立懸架コイルスプリング (BOS 製) 後/トレーリングリンク車軸式コイルスプリング (中央発條製)
ショックアブソーバー	リザーバタンク付複筒ガス式 (BOS 製)
ブレーキ	前後ベンチレーテッドディスク (ブレーキパッドのみ : インドレス製)
トランスミッション	6速オートマチック <6 Super ECT>
タイヤサイズ	285/70R17 (TOYOTIRE OPENCOUNTRY M/T-R)
ホイール	マグネシウム鍛造 17インチ×7.5J (ENKEI 製)
駆動方式	4輪駆動 (フルタイム4WD)

(上記スペックは1号車、2号車共通)

3. ダカールラリー2022 参戦体制

【チームメンバープロフィール】

2021年11月19日時点

体制		氏名	年齢	備考
チーム代表		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">新</div>  </div> <p>ホンダ アツシ 本多 篤</p>	54	トヨタ車体(株)コーポレート本部 領域長 2021年4月よりチーム代表に就任。 感謝の気持ちを忘れず、どんな時でもあきらめず 全員でチャレンジするチームを目指す。
チーム監督		 <p>かきた いわじろ 角谷 裕司</p>	48	トヨタ車体(株)広報室 ハンドボール日本代表で培った闘争心で チームを鼓舞する。2015年よりチームを率い、 2021年大会で部門8連覇に導いた。
1号車	ドライバー	<p>ミウラ アキラ 三浦 昂</p> 	38	トヨタ車体(株)広報室 社員ナビゲーターとして2007年大会から ダカールラリーに参戦。2016年大会よりドライバ ーに転向し、2021年大会ではエースドライバーと して市販車部門優勝。
	ナビゲーター	<p>ローラン・リントロイスター Laurent Lichtleuchter</p> 	45	TLC 契約ナビゲーター 世界各国のドライバーとコンビを組んできた 豊富な経験を持つ。三浦とのコンビは7回を 迎え、優勝は過去2回。
2号車	ドライバー	<p>ロナルド・バソ Ronald Basso</p> 	39	TLC 契約ドライバー 2010年から8回のダカールラリー参戦。 2021年大会で TLC ドライバーとして初参戦 し、部門準優勝を獲得。
	ナビゲーター	<p>ジャン・ミッシェル・ポラト Jean Michel Polato</p> 	50	TLC 契約ナビゲーター ダカールラリー界のベテランナビゲーター。 2021年大会で TLC ナビゲーターとして初参戦 し、バンとともに部門準優勝を獲得。
チーフメカニック		<p>フィリップ・シャロワ Philippe Challoy</p> 	61	TLC 契約メカニック 1995年のチーム発足以来、メカニック陣を 統括してきた敏腕チーフメカニック。メカニックの腕 はもちろんのこと、その人柄でメンバーからの信頼 を得る。
日本人メカニック		<p>中武 佑太</p> 	35	福岡トヨタ自動車(株) 2019年4月よりチームに参加し、ダカールラリー 2020年大会でメカデビュー。技術力に長け、 チーフメカニックからの期待も厚い。
		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">新</div>  </div> <p>アキ 中井 穴見 直樹</p>	29	福岡トヨタ自動車(株) 2021年4月よりチームに参加。 モロッコラリー2021でチームに帯同し、 2022年大会がダカールラリーデビュー。

4. 参戦カテゴリー

市販車部門ディーゼルクラス（下表太枠部）

4 輪部門	市販車部門	ディーゼルクラス
		ガソリンクラス
	改造車部門	ディーゼルクラス
		ガソリンクラス
		2WD（2輪駆動）クラス
2 輪部門	オフロードバイクのカテゴリー	
クアッド部門	4 輪バギーのカテゴリー	
カミオン部門	トラックのカテゴリー	

※TLC はガソリンクラスを含めた市販車部門での優勝と部門 9 連覇を目標に参戦します
（カテゴリーは 2021 年大会時点のもの。2022 年のカテゴリーについては未発表）

【参考資料 1 : TLC 過去の戦歴】 現在は、2014 年大会から市販車部門 8 連覇中

開催年	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
車両	ランドクルーザー-80				ランドクルーザー-100					
成績	市販車ディーゼルクラス			市販車ディーゼルクラス						リタイア
	4位	優勝	2位	優勝						
備考	アラコとして参戦									

6連覇

開催年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
車両	ランドクルーザー-100				ランドクルーザー-200												
成績	市販車部門		大会	中止	市販車部門			市販車部門		市販車部門							
	優勝				優勝			2位		優勝							
備考	2005年大会よりトヨタ車体として参戦																

6連覇

8連覇

【参考資料 2 : 大会概要 (ダカールラリー2022 サウジアラビア)】

・開催期間 : 2022年1月2日~1月14日 (計13日間、12ステージ)

・開催国 : サウジアラビア王国 (1カ国開催)

スタート/ハイル ~ 中間休息日/リヤド ~ ゴール/ジェッダ

※コースや総走行距離などの詳細については、未発表 (11月19日現在)

サウジアラビアの砂漠地帯を時計回りに回るルートで開催されます。ラリーは1月2日に、サウジアラビア北部のハイルをスタートし、南下してエンティクォーター (世界最大級の砂漠 ルブアルハリ砂漠) へと向かいます。その後、3日間は100%砂丘のみのルートを進み、1月8日にはサウジアラビアの首都リヤドでの休養日が設けられています。そして、後半は南西へルートを取り、岩に囲まれた谷、深い砂丘などのルートが予想され、1月14日にジェッダでフィニッシュを迎えます。ルート上には2度にわたるループステージや、メカニックのサポートを受けられず、ドライバーとナビゲーターだけでトラブルを対処しなければならないマラソンステージも予定されています。



(前回大会 : 総走行距離 7,941km、競技区間 4,577km、競技日程 13日間、12ステージ)

TLCの活動はパートナー企業の皆さまによって支えられています。



世界のくらしに、笑顔を届けたい

